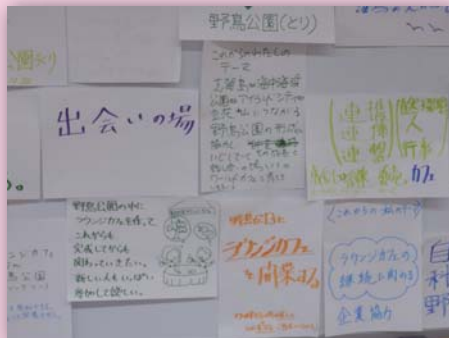


ひとりひとりの想い

全員から発言してもらった野鳥公園のこれからのテーマを前に貼りだしました。
野鳥公園に対する思いは様々でしたが、「野鳥公園ラウンジカフェを継続し、今後も見守っていきたい」という声が多く聞かれました。



第8回までを終えて～ファシリテーターから見えたもの

「野鳥公園はもう生まれているのではないのでしょうか」
白紙から、まだ見ぬ野鳥公園を、市民自らの手で描こう、とはじまった「野鳥公園ラウンジカフェ」。機能や形状を図面アイディアにしよう、という対話にはじまりましたが、最終的には、シーンやストーリー、コンセプト（基本概念）こそを市に提案しようとなりました。最終回には、「野鳥公園はもう生まれている」という印象的な言葉もありました。

ラウンジカフェ活動の継続を望む声は、市民によるパークマネジメントの可能性でもあります。与えられた公園を使う受け身の市民から、自らが使う公園づくりに参画する自立した市民が運営する自立した公園の出現こそ、もしかしたら「新しい公共」をなすものかもしれません。

そうだとしたら、今はむしろはじまりのとき。きっと、これらの対話活動が継続されるなら、そこからパークマネジメントの原型となる「野鳥公園」ができる前からではじめられる野鳥公園的市民プロジェクトがはじまるでしょう。その、まだ見ぬ公園実現に向かう市民プロジェクトこそ、使う側がつくっていく新しいプロセス（行程）、新しいつくり方の誕生なのかも知れません。有意義な対話の場をありがとうございました。

ファシリテーターの紹介・・・田坂 逸朗 氏
(コミュニティ・ワールドカフェLLP代表)

年間約250のワークショップに登壇するファシリテーション・プロデューサー。特定非営利活動法人ローカルアントレプレナス・スクール代表理事、ワールド・カフェ・コミュニティ・ジャパン企画運営委員などを務めるほか、2011年の福岡市「アジアのリーダー都市ぶくおか!プロジェクト」ワールドカフェアクションプロデューサーなど、まちづくりに関するプロデュースも実践されている。

全8回、延べ321人の方々にご参加いただいた野鳥公園ラウンジカフェは、意義深い対話の場となりました。皆さまの野鳥公園に対する熱意や想いに深く感謝申し上げます。

コンセプト『成長する野鳥公園』、参加者の想いが一つになった『ストーリーボード』など、目に見えるカタチでの成果につきましては、野鳥公園基本計画の一部としてしっかりと位置付けてまいります。

今後は環境全般の立場で、野鳥公園が生物多様性の拠点として活用されるように、また、パークマネジメントの仕組みづくりに繋げることも念頭に置きながら、検討を継続していきたいと考えております。



お問い合わせ先 福岡市役所 環境局 環境調整課 野鳥公園整備担当 【担当：名川】
TEL 092-733-5389 FAX 092-733-5592 E-MAIL nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

アイランドシティで野鳥公園づくりが始まりました!

発行：福岡市役所環境局環境調整課

野鳥公園ラウンジカフェニュース



2014年3月

野鳥公園ラウンジカフェとは

多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する博多湾、その東部にて新しいまちづくりが行われているアイランドシティに、約12haの野鳥公園の整備を予定しています。野鳥公園ラウンジカフェは、住民や学生など市民をはじめ、専門家、事業者、NPO、行政など多様な主体が野鳥公園の整備や活用、運営に向けて語り合う場です。



第8回開催状況



野鳥公園オープンセッションの報告

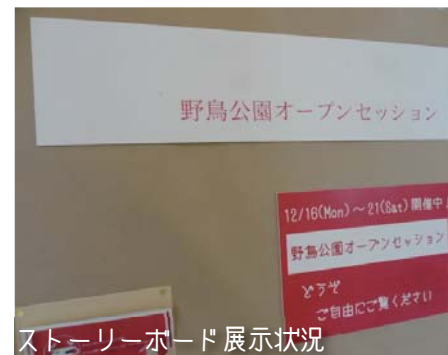
■開催日時：2013年12月16日（月）～21日（土） ■会場：福岡市役所1階ロビー

野鳥公園ラウンジカフェでは、昨年度から様々な主体とともに、野鳥公園の将来像について検討してきました。

検討を重ねること7回、導き出されたコンセプト「成長する野鳥公園」に基づき、野鳥公園とそこに関わる人々が成長していくプロセスを「ストーリーボード」として表現しました。

今回、このストーリーボードを展示し、より多くの市民の方々が野鳥公園の将来像について思いを馳せる機会として「野鳥公園オープンセッション」を開催しました。

会場では、ストーリーボードの展示に加え、ラウンジカフェの開催風景を写真映像で放映すると共に、鳥のさえずりなどをCDで流して雰囲気を演出しました。

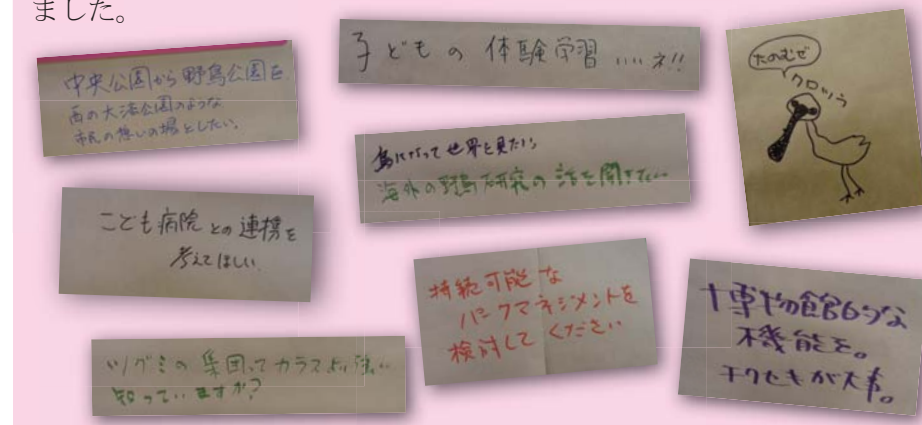


ストーリーボード展示状況



ストーリーボードを見た市民からのコメント

多くの市民から意見を収集するためにストーリーボードの周りに書き込みができる工夫を行いました。書きこみは、内容に共感したものや新たなアイデア、意見・要望など様々なコメントが計46件集まりました。



■日時：12月21日（土）14:00～16:30
オープンセッション最終日には、「生きものと私たちのくらしトーク・カフェ」が同時開催され、『身近な生きものへの「まなざし」』をテーマに、「食」や「農」など、私たちに身近な切り口から語り合いました。

第8回野鳥公園ラウンジカフェの振り返り

■開催日時：2013年12月22日（日） 13:00～16:00 ■会場：電気ビル共創館 ■参加者：29名

テーマ：野鳥公園の将来像をカタチにしよう！



さあ、野鳥公園のコンセプトも固まり、将来像も見えてきましたね。
野鳥公園のこれからのテーマについて考えてみましょう！

ファシリテーターの
田坂さん

プログラム

13:00 あいさつ、オープンセッション報告

13:10 ~ 今までの振り返り、ワールドカフェの説明
ワールドカフェ

13:35 ~ 自己紹介、自由な意見交換

13:50 ~ 野鳥公園のこれからについて話し合います。

15:10 全体の振り返り

→野鳥公園について自分自身のテーマを考えます。

15:15 発表、全体共有

16:00 終了

ストーリーボードが完成しました!

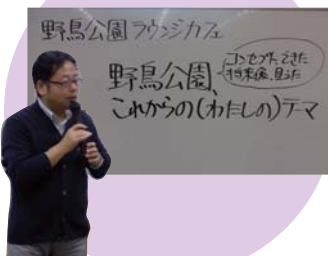
これまでラウンジカフェで考えてきた野鳥公園の将来像をシーン（場面）と物語（ストーリー）に表現した「ストーリーボード」が完成しました。ストーリーボードを完成させるにあたって、全25枚のボード一枚一枚の構成や細かい表現まで、ラウンジカフェで議論してきました。さらに、この内容についてはラウンジカフェの中で収束させるのではなく、多くの市民にも意見をもらうという機会として、オープンセッションを開催するに至りました。

今回のラウンジカフェは、完成版のストーリーボードを会場内に展示し、全員で確認するとともに、オープンセッションで収集した市民意見を共有することから始まりました。 ※オープンセッションでの意見については1ページ参照



ラウンジカフェ参加者の想いをまとめた
25枚のストーリーボードの一部

～今までの振り返り～



「ラウンジカフェお疲れ様でした。今のお気持ちは？」

まずはストーリーボードの完成、お疲れ様でした。ラウンジカフェは、今回が一応の最終回となります。

・ これまでを振り返ってみて、何についての議論が自分にとっての山場でしたか？

・また、今後もラウンジカフェが続いていくとしたら、何を語り合いのテーマにしたいですか？

・さらに、野鳥公園が完成に至るまで、完成に至ったあととずっと語り合いの対象になっていくでしょう。

これまでのラウンジカフェでも「パークマネジメント」「アクティビティ」といった言葉が出てきましたが、そのとき、自分はどうのように関わりたいと思いますか？

今回は、第1回目と全く同じプログラムで、これまでのラウンジカフェを振り返り、そして今後について語り合うラウンジカフェです。

ワールドカフェ～野鳥公園、これからの（わたしの）テーマ～

今回もラウンジカフェ皆勤賞の方から、今日初めてラウンジカフェに足を運んだという人などいろんな人が入り交じった場となりました。ワールドカフェの最初は、ラウンジカフェとの関わりを自己紹介したり、簡単な雑談から意見交換が始まりました。



テーブル一面に広げたクラフト紙に落書きをしながら、思い思いの意見を出し合いました。大きな山場を越えたためか、みなさんリラックスした雰囲気でした。



途中でグループのうち一人を残して席替えを行います。
これまでどんなことが話題にのぼったのかを確認し、さらに
新しいメンバーで議論を深めて想いを共有していきます。



再度最初のグループに戻って、どんな想いを共有してきたのか報告をします。そして、意見交換を終えて、「野鳥公園、これからの私のテーマ」を一人ひとり設定しました。



最後には、白い紙に自分の想いを描き、ひとりずつ宣言していきました。

自分の日常生活や趣味、仕事などを踏まえたいろんな思いを聞くことができました。

